

原稿制作上の規定

■入稿データは全ての媒体について、雑誌広告デジタル送稿推進協議会で策定されたルールに準拠したもののみ受け付けております。

詳細は<https://www.3djma.jp/>をご参照下さい。

原稿制作方法はhttps://www.3djma.jp/production_method/をご参照下さい。

■JMPAカラーについて、旧バージョン「3.01」で入稿された場合は自動的に新バージョン「JMPAカラー2018」に変換されます。

データによっては色調が変わる可能性もありますので入稿の際はご注意ください。

詳しくはデジタル送稿推進協議会HP (https://www.3djma.jp/jmpa_color_cont01/) をご参照下さい。

■オンライン送稿はデジタルSEND社のみ対応しています。

その他のメール入稿は原則として受け付けておりません。

■メディアでの入稿の場合、原稿は基本的に返却致しません。

返却が必要な場合は必ず「要返却」と明記して下さい。

■色見本の運用は「**デジ協検証中**」のデータのみ受け付けます。

■データ制作時には不備のないよう注意をお願い致します。特に下記の項目は不備原稿に散見されますので、充分お気をつけ下さい。

◎インク総量（TAC 値）

協議会の規定は、CMYK の掛け合わせの総量を 320%以下としています。これは、シャドウ部分の潰れや、印刷時の汚れを防ぐ事が目的となっています。画像の色調整やレイアウト内のオブジェクト作成時など、原稿制作を行う中でインク総量を調整するシーンは多くありますので、注意をお願いいたします。

◎画像解像度と拡大縮小率

レイアウトに配置する画像の種類によって、解像度は規定されています。

○多値画像：290～450dpi ○二値画像：1000～3000dpi

また、拡大縮小率は、多値・二値とも 80～120%としてください。

これは、埋め込み画像の容量の適正化と、掲載の品質維持を目的としています。

◎オーバープリント

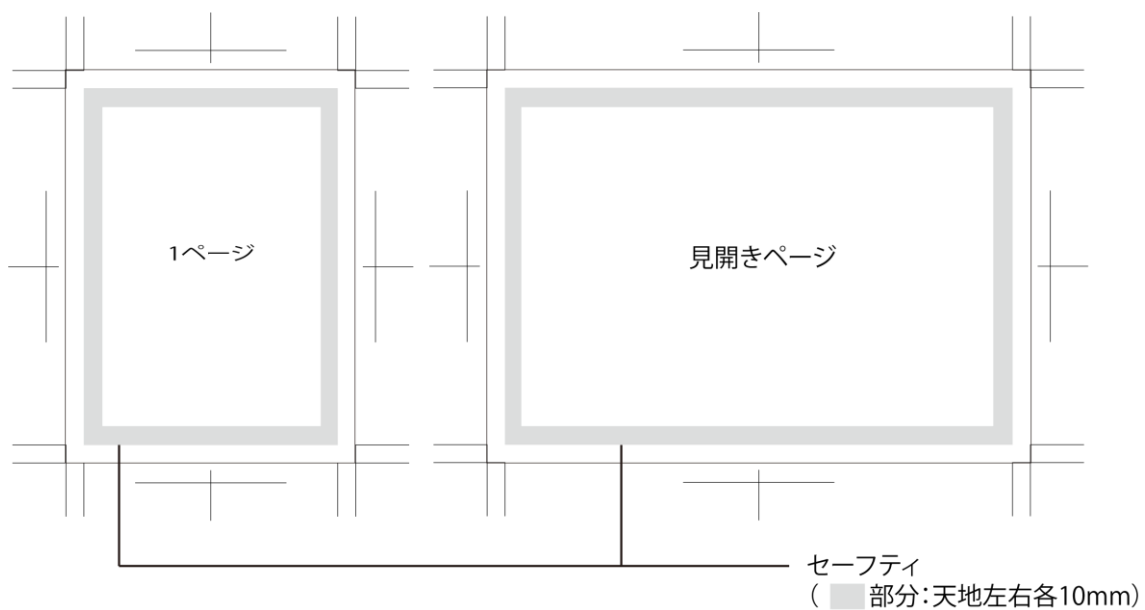
オブジェクトのオーバープリントは、印刷処理時にデータ設定に忠実に反映されます。

そのため、K100%を意図的にロックアウトにしたい場合や、色網をオーバープリントにしたい場合は、制作意図が出版社／印刷会社に伝わるよう、仕様書の備考欄か出力見本に、その指示を明記してください。

入稿時の諸注意

追い込み（セーフティ）

●製本上、三方断裁の作業がございますので、原稿作成の際は天地・左右に追い込み（セーフティ）を設けてください。追い込み（セーフティ）は仕上り寸法の天地左右から、切れてはいけない文字・ロゴ・写真等に対して10mm以上とるようお願いします。



原稿審査に関して

■弊社の媒体に初めて出広されるクライアント様に関しては、事前に原稿の審査をさせて頂くことがあります。ご了承ください。

■タイアップ風の記事広告、編集ページと似た構成の記事広告、および日本雑誌広告協会・雑誌広告掲載基準、その他法規に抵触するおそれのある広告に関しても同様に事前の審査をさせていただく場合がございます。ご了承ください。